



# ハイビヤクシン [ 這柏槇 ]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 在来種・変種



**科名** ヒノキ科ビヤクシン属 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い、雌雄異株、針葉樹

青味を帯びた細やかな葉をつけ、こんもりと繁茂する。匍匐（ほふく）性があり、グラウンドカバーに利用される。日本の在来種で、古くから庭園にも配植されている。ビヤクシン属イブキの変種。赤星病を媒介するため、梨園の周辺では配植が制限されることがあるので注意。



葉



新葉



花



針葉の発生

## Memo

壱岐市辰の島では、ハイビヤクシンが海岸の風の強い崖地に生育し、天然記念物に指定されている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸 花期													
🍒 果実											■		
🍁 紅葉													
🌱 施肥			■										
✂️ 剪定				■	■	■					■		

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	◎		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

### ポイント

日当りと水はけのよい場所を好む。匍匐（ほふく）性があり、放任しても自然にこんもりとまとまってくる。刈り込む場合は、芽吹き前や生長期がお薦め。直に新葉を伸ばし切り口が目立たなくなる。

### 剪定

匍匐(ほふく)性のコニファーは、放射状に伸びた枝を切り詰めると、側枝をよく伸ばしこんもりとした樹形になる。生育旺盛な場合は、内部が蒸れるので枝抜きをして風通しを保つとよい。

### 病虫害

冬期、葉に赤星病（カビの一種）の胞子がつき、春先に橙色のゼリー状になる。ハイビヤクシンの被害は軽度だが、ナシ、ボケ、カリン、カイドウなどの新葉へ移動し赤星病を発生させる。